

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2001-144941 (P2001-144941A)

【公開日】平成 13 年 5 月 25 日 (2001.5.25)

【出願番号】特願 平 11-324148

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 3/40

H 0 4 N 1/21

H 0 4 N 1/393

H 0 4 N 1/40

【F I】

H 0 4 N 1/387

H 0 4 N 1/21

H 0 4 N 1/393

G 0 6 F 15/66 3 5 5 A

H 0 4 N 1/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 14 日 (2005.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オペレーティングシステムがスキャナドライバを介してスキャナによる原稿画像の読み取り動作を制御可能な情報処理装置であって、

前記スキャナドライバが設定された変倍率に従って読み取った画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍手段と、

前記変倍手段により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて前記スキャナドライバが読み取った前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記判定手段により前記画像データが前記特定画像データにほぼ一致すると判定された場合に、読み取られた画像データとは異なる画像データに加工処理することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記制御手段により前記画像データに対して所定の画像加工処理が施された場合に、該画像データが特定画像データに一致するために加工されたことを示す警告メッセージを表示する表示手段を有し、前記制御手段は、前記表示手段により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、読み取られて加工されている画像データを破棄することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記所定の画像加工処理は、読み取られた画像データの解像度を変換する解像度変換処

理，読み取られた画像データの色調を変換する色変換処理，読み取られた画像データに任意の画像データを付加する画像変換処理を含むことを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記表示手段により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、特定画像データの読み取り処理状況を検証可能な履歴情報を作成して不揮発性メモリに登録することを特徴とする請求項 3 記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記特定画像データは、複製が法律上禁止されている原稿画像とすることを特徴とする請求項 1～3，5 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記特定画像データは、あらかじめ更新可能に記憶管理されていることを特徴とする請求項 1～3，5，6 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記スキャナは、ローカルインタフェースあるいはネットワークインタフェースを介して接続可能とすることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 9】

オペレーティングシステムがプリンタドライバを介してプリンタによる画像データの印刷動作を制御可能な情報処理装置であって、

前記プリンタドライバがラスタライズした画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍手段と、

前記変倍手段により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて前記プリンタドライバがラスタライズした前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御手段と、  
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記判定手段により前記画像データが前記特定画像データにほぼ一致すると判定された場合に、ラスタライズされた画像データとは異なる画像データに加工処理することを特徴とする請求項 9 記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記制御手段により前記画像データに対して所定の画像加工処理が施された場合に、該画像データが特定画像データに一致するために加工されたことを示す警告メッセージを表示する表示手段を有し、

前記制御手段は、前記表示手段により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、ラスタライズされて加工されている画像データを破棄することを特徴とする請求項 9 記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記所定の画像加工処理は、ラスタライズされた画像データの解像度を変換する解像度変換処理，読み取られた画像データの色調を変換する色変換処理，ラスタライズされた画像データに任意の画像データを付加する画像変換処理を含むことを特徴とする請求項 9 記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記制御手段は、前記表示手段により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、特定画像データのラスタライズ処理状況を検証可能な履歴情報を作成して不揮発性メモリに登録することを特徴とする請求項 11 記載の情報処理装置。

【請求項 14】

前記特定画像データは、複製が法律上禁止されている原稿画像とすることを特徴とする請求項 9～11，13 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 15】

前記特定画像データは、あらかじめ更新可能に記憶管理されていることを特徴とする請求項 9 ～ 11, 13, 14 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 16】

前記プリンタは、ローカルインタフェースあるいはネットワークインタフェースを介して接続可能とすることを特徴とする請求項 9 記載の情報処理装置。

【請求項 17】

オペレーティングシステムがスキャナドライバを介してスキャナによる原稿画像の読み取り動作を制御可能な情報処理装置の画像処理方法であって、

前記スキャナドライバが設定された変倍率に従って読み取った画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍工程と、

前記変倍工程により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定工程と、

前記判定工程による判定結果に基づいて前記スキャナドライバが読み取った前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御工程と、

を有することを特徴とする情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 18】

前記制御工程は、前記判定工程により前記画像データが前記特定画像データにほぼ一致すると判定された場合に、読み取られた画像データとは異なる画像データに加工処理することを特徴とする請求項 17 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 19】

前記制御工程により前記画像データに対して所定の画像加工処理が施された場合に、該画像データが特定画像データに一致するために加工されたことを示す警告メッセージを表示する表示工程を有し、

前記制御工程は、前記表示工程により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、読み取られて加工されている画像データを破棄することを特徴とする請求項 17 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 20】

前記所定の画像加工処理は、読み取られた画像データの解像度を変換する解像度変換処理、読み取られた画像データの色調を変換する色変換処理、読み取られた画像データに任意の画像データを付加する画像変換処理を含むことを特徴とする請求項 17 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 21】

前記制御工程は、前記表示工程により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、特定画像データの読み取り処理状況を検証可能な履歴情報を作成して不揮発性メモリに登録することを特徴とする請求項 17 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 22】

前記特定画像データは、複製が法律上禁止されている原稿画像とすることを特徴とする請求項 17 ～ 19, 21 のいずれかに記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 23】

前記特定画像データは、あらかじめ更新可能に記憶管理されていることを特徴とする請求項 17 ～ 19, 21, 22 のいずれかに記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 24】

オペレーティングシステムがプリンタドライバを介してプリンタによる画像データの印刷動作を制御可能な情報処理装置の画像処理方法であって、

前記プリンタドライバがラスターライズした画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍工程と、

前記変倍工程により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定工程と、

前記判定工程による判定結果に基づいて前記プリンタドライバがラスターライズした前記

画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御工程と、  
を有することを特徴とする情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 25】

前記制御工程は、前記判定工程により前記画像データが前記特定画像データにほぼ一致すると判定された場合に、ラスタライズされた画像データとは異なる画像データに加工処理することを特徴とする請求項 24 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 26】

前記制御工程により前記画像データに対して所定の画像加工処理が施された場合に、該画像データが特定画像データに一致するために加工されたことを示す警告メッセージを表示する表示工程を有し、

前記制御工程は、前記表示工程により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、ラスタライズされて加工されている画像データを破棄することを特徴とする請求項 24 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 27】

前記所定の画像加工処理は、ラスタライズされた画像データの解像度を変換する解像度変換処理、読み取られた画像データの色調を変換する色変換処理、ラスタライズされた画像データに任意の画像データを付加する画像変換処理を含むことを特徴とする請求項 24 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 28】

前記制御工程は、前記表示工程により表示された警告メッセージに対するユーザからの画像処理要求に基づき、特定画像データのラスタライズ処理状況を検証可能な履歴情報を作成して不揮発性メモリに登録することを特徴とする請求項 26 記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 29】

前記特定画像データは、複製が法律上禁止されている原稿画像とすることを特徴とする請求項 24 ~ 26, 28 のいずれかに記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 30】

前記特定画像データは、あらかじめ更新可能に記憶管理されていることを特徴とする請求項 24 ~ 26, 28, 29 のいずれかに記載の情報処理装置の画像処理方法。

【請求項 31】

オペレーティングシステムがスキャナドライバを介してスキャナによる原稿画像の読み取り動作を制御可能な情報処理装置に、

前記スキャナドライバが設定された変倍率に従って読み取った画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍工程と、

前記変倍工程により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定工程と、

前記判定手段による判定結果に基づいて前記スキャナドライバが読み取った前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御工程と、  
を実行させるためのプログラムを記録したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明に係る第 9 の発明は、オペレーティングシステム（図 11 に示すオペレーティングシステム 702 に相当）がプリンタドライバ（図 11 に示すプリンタドライバ 703 に相当）を介してプリンタ（図 11 に示すプリンタ 704 に相当）による画像データの印刷動作を制御可能な情報処理装置であって、前記プリンタドライバがラスタライズした画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍手段（図 11 に示す偽造判定処理モ

ジュール 7 0 3 - 3 に相当)と、前記変倍手段により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定手段(図 1 1 に示す偽造判定処理モジュール 7 0 3 - 3 に相当)と、前記判定手段による判定結果に基づいて前記プリンタドライバがラスターライズした前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御手段(図 1 1 に示す偽造防止制御モジュール 7 0 5 に相当)とを有するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本発明に係る第 2 4 の発明は、オペレーティングシステム(図 1 1 に示すオペレーティングシステム 7 0 2 に相当)がプリンタドライバ(図 1 1 に示すプリンタドライバ 7 0 3 に相当)を介してプリンタ(図 1 1 に示すプリンタ 7 0 4 に相当)による画像データの印刷動作を制御可能な情報処理装置の画像処理方法であって、前記プリンタドライバがラスターライズした画像データを定倍率に従う画像データに変倍処理する変倍工程(図 1 6 に示すステップ S 1 7 2 1)と、前記変倍工程により変倍された画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定する判定工程(図 1 6 に示すステップ S 1 7 2 3)と、前記判定工程による判定結果に基づいて前記プリンタドライバがラスターライズした前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御する制御工程(図 1 6 に示すステップ S 1 7 1 3 ~ ステップ S 1 7 1 5)とを有するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0141

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0141】

## 【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、オペレーティングシステムがスキャナドライバを介してスキャナによる原稿画像の読み取り動作を制御可能な情報処理装置において、前記スキャナドライバが設定された変倍率に従って読み取った画像データに対して定倍率の変倍処理を施した画像データと特定画像データとを比較して一致度を判定し、該判定結果に基づいて前記スキャナドライバが読み取った前記画像データに対する所定の画像加工処理を制御するので、スキャナがプリンタと一体となるような複写システムとして構成されず、スキャナ単体として画像読み取り処理が行える環境においても、複製が禁止されている特定画像に一致するような画像データが変倍されて読み取られた場合でも、読み取られた特定画像に一致する不正な画像データが無意味な画像データとなるように加工処理を施して、複製が禁止された原稿から偽造物が作成されてしまう画像入力処理を確実に防止することができる。